

【お手本用】 ノートのマスのお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「ことわざ」を書こう①

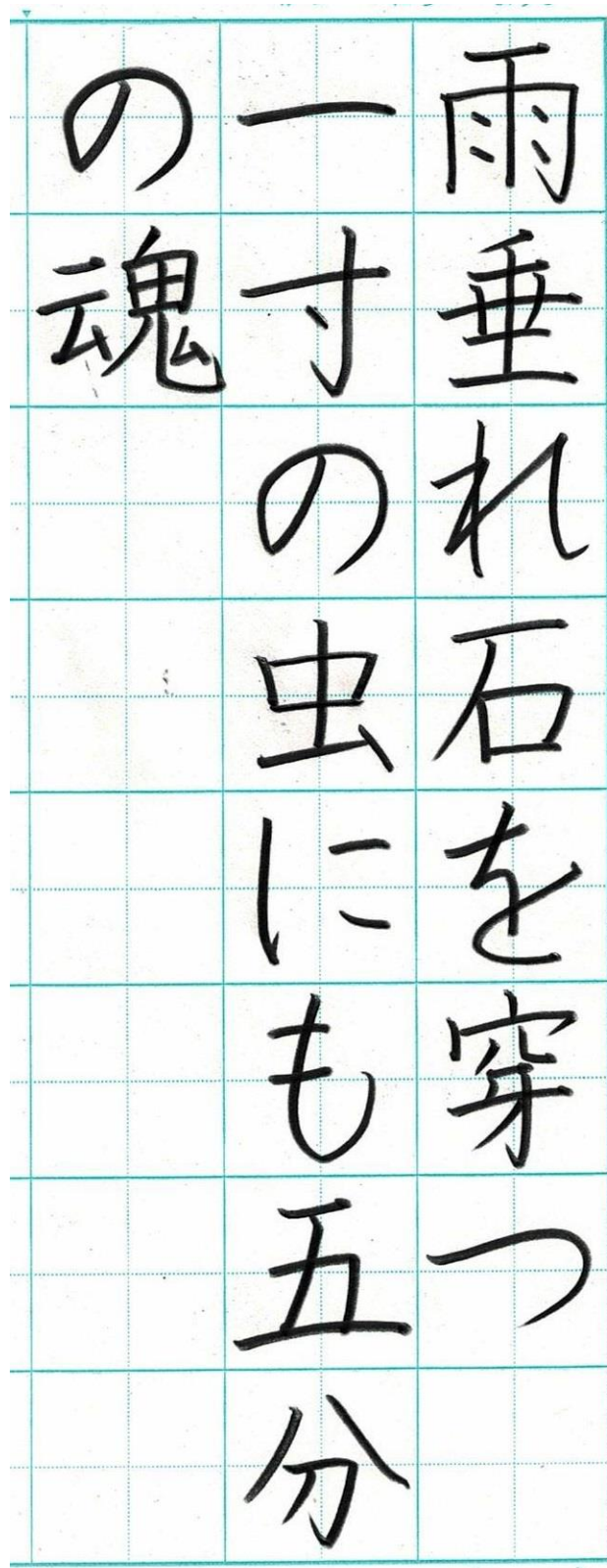


【雨垂（あまだ）れ石（いし）を穿（うが）つ】

…どんなに小さな力でも、根気（こんき）よく続（つづ）けていればいつか成果（せいか）が得（え）られるということ

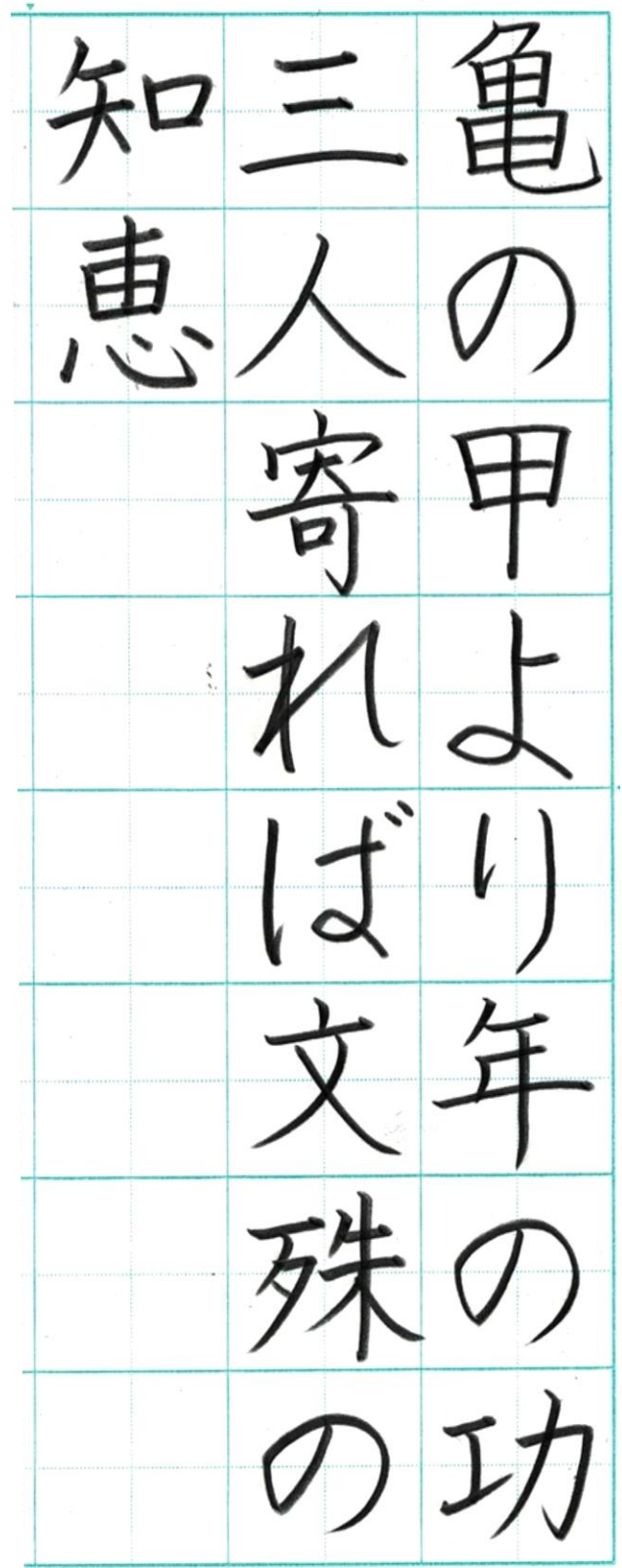
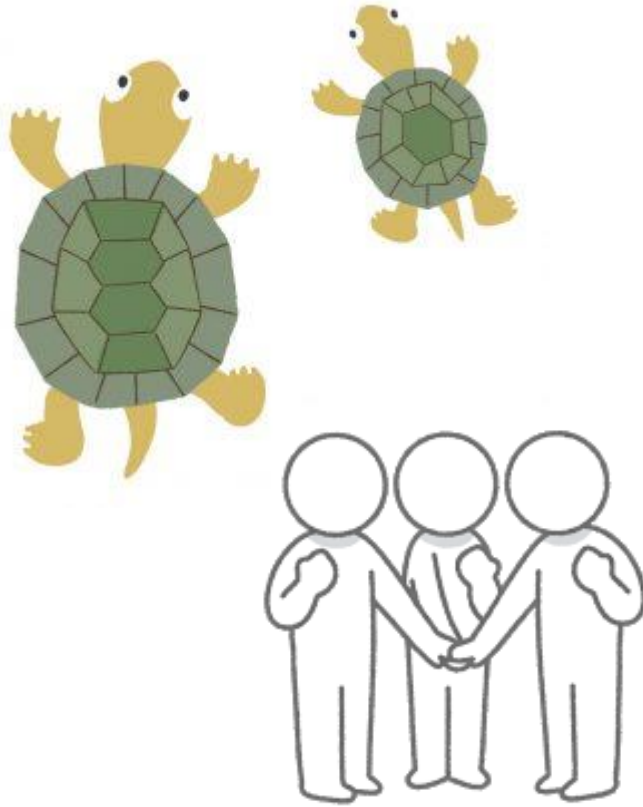
【一寸（いっすん）の虫（むし）にも五分（ごぶ）の魂（たましい）】

…小さくて弱（よわ）い者（もの）にも、意地（いじ）や根性（こんじょう）があるのだから、あなどってはいけないということ



【お手本用】 ノートのマスのお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「ことわざ」を書こう②



【亀 (かめ) の甲 (こう) より年 (とし) の功 (こう)】
…年をとっている人の知識 (ちしき) や知恵 (ちえ) は
ためになるので、意見 (いけん) を聞 (き) くべきだ
ということ

【三人 (さんにん) 寄 (よ) れば文殊 (もんじゅ) の知恵 (ちえ)】

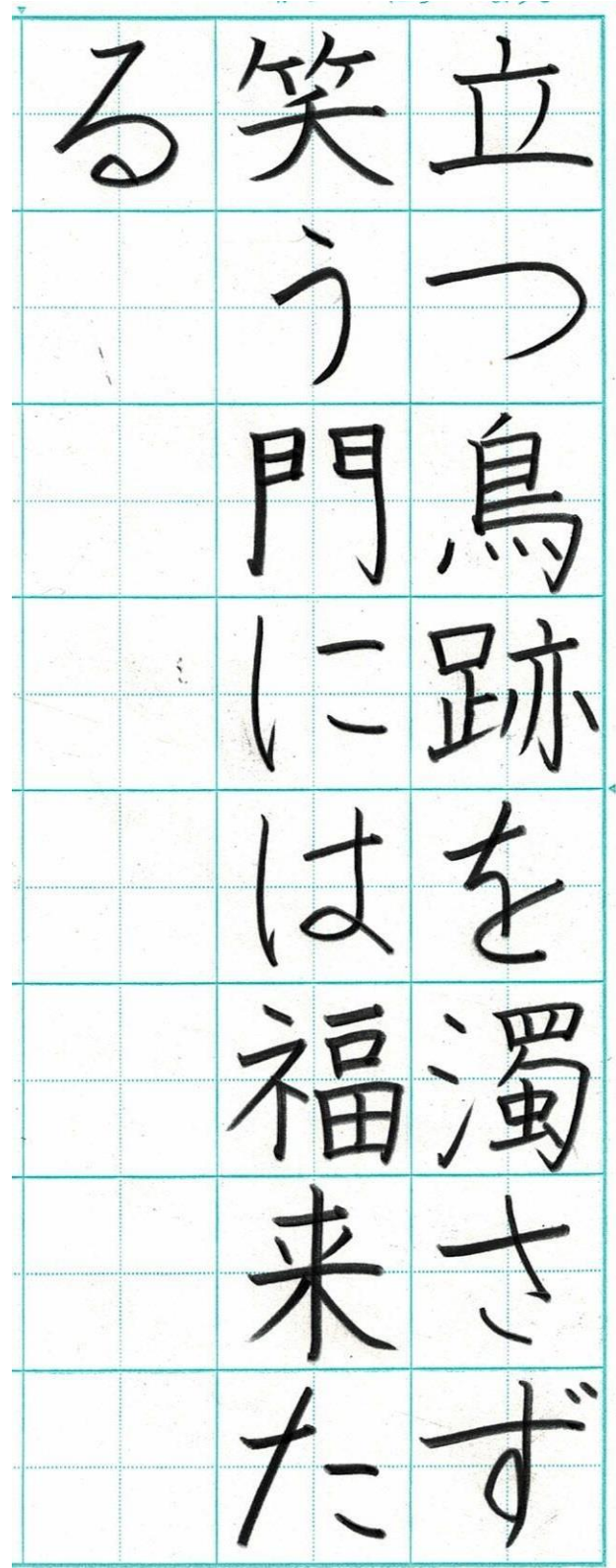
…頭 (あたま) のよい者 (もの) でなくても、三人が集
(あつ) まって相談 (そうだん) すれば、よい知恵 (ち
え) がうかぶものだという。「文殊 (もんじゅ)」
は知恵 (ちえ) の仏 (ほとけ) さま

【お手本用】 ノートのマスの左にお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「ことわざ」を書こう③



【立（た）つ鳥（とり）跡（あと）を濁（にご）さず】
…立ち去（さ）る者は、あとが見苦（みぐる）しくないよ
うにすべきということ
【笑（わら）う門（かど）には福（ふく）来（き）たる】
…いつも楽（たの）しそうにしている家（いえ）には、幸
（しあわ）せがやってくるということ



【お手本用】 ノートのマスの左にお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「ことわざ」を書こう④

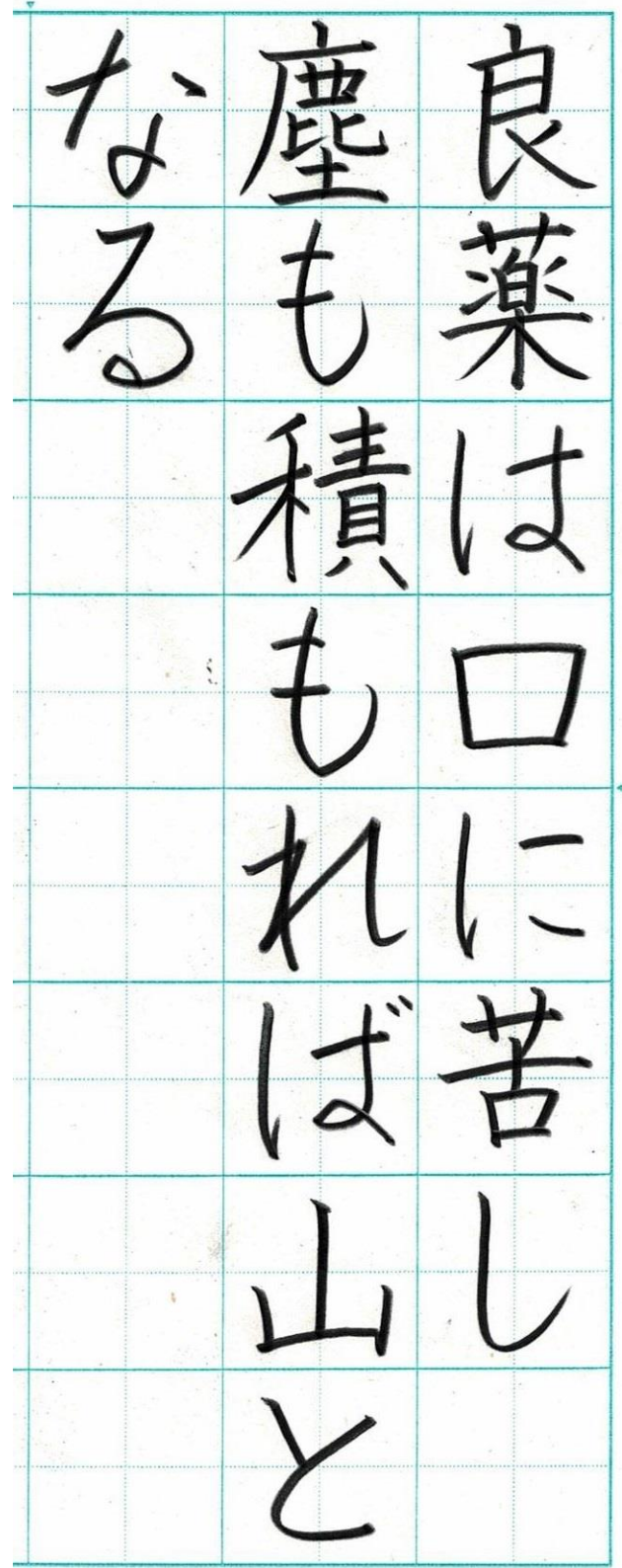


【良薬(りょうやく)は口(くち)に苦(にが)し】

…よくきく薬(くすり)は苦(にが)くて飲(の)みにくい。本当(ほんとう)に自分(じぶん)を思(おも)ってくれているアドバイスは、聞(き)くのがつらいということ

【塵(ちり)も積(つ)もれば山(やま)となる】

…ほんのささいなものでも、積(つ)もり積もれば大きなものとなるということ



【お手本用】 ノートのマスのお手本をおいて、よく見ながら練習しよう。

「ことわざ」を書こう⑤



【光陰（こういん）矢（や）の如（ごと）し】
…月日がすぎるのは、飛（と）んでいく矢（や）
のように速（はや）いということ
【二兎（にと）を追（お）う者（もの）は一兎
（いっ）をも得（え）ず】
…欲（よく）ばって二つのものを欲（ほ）しが
ると、どちらも手に入らないものだとい
うこと

